

# 競 技 注 意 事 項

1 本競技会は、2014年度(財)日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本大会申し合わせ事項によって行う。但し、不正スタートについては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後に不正スタートした競技者はすべて失格とする。

2 ① トラック競技の予選は、すべて各組1着+4とする。

② フィールド競技(走高跳・棒高跳は除く)では、ベスト8を選び、さらに3回の試技を行う。

3 競技者の招集について

① 招集場は、サブグラウンド倉庫に設ける。

② 招集開始時刻と完了時刻は、当該種目の開始時刻を基準に、次の通りとする。

		招集開始時刻	招集完了時刻
ト ラ ッ ク 競 技		競技開始の30分前	競技開始の20分前
フ ィ ー ル ド 競 技	跳 躍	競技開始の40分前	競技開始の30分前
	砲丸投	競技開始の40分前	競技開始の30分前
	円盤投	競技開始の60分前	競技開始の50分前
	棒高跳	競技開始の60分前	競技開始の50分前

③ 競技者は招集完了時刻には招集場で待機し、最終点呼を受ける。その際、競技者係にナンバーと競技用靴、衣類の商標の確認を受ける。

④ リレーと兼ねて出場する競技者が、競技順序の関係で招集完了時刻に招集所に待機できないときには、あらかじめ競技者係に申し出て指示を受ける。

⑤ ナンバーは胸背部に付けなければならない。但し、走高跳・棒高跳の出場者は、胸部または背部のどちらかでもよい。また走幅跳・三段跳の出場者は、胸部だけでもよい。

⑥ トラック競技に出場する者で、800mまでの種目の腰ナンバーは各自で準備し、1500m以上の種目については主催者で準備する。

⑦ スパイクは全天候舗装型で9mm以下でなければならない。(走高跳は12mm以下)

⑧ 招集完了時刻に遅れた者は、棄権したものとみなす。

4 リレーのオーダー用紙について

① 予選のリレーのオーダー用紙は、**8:30 に受付(競技場正面入口)に2部提出**する。

② 決勝のリレーのオーダー用紙は、**招集完了時刻1時間前までに招集所に2部提出**する。

③ リレーオーダー用紙を提出した後の招集は、3の②に示したトラック競技の時刻と同じである。

5 トラック競技で棄権者がある場合は、その競技者のレーンはそのままあける。

6 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

種 目	性 別	練 習	競 技
走 高 跳	男 子	1m45	1m50 - 1m55 - 1m60 - 1m65 - 1m70 - 1m75 (あと3cm刻み)
	女 子	1m25	1m30 - 1m35 - 1m40 - 1m43 - 1m46 (あと3cm刻み)
棒 高 跳	男 子	2m20	2m30 - 2m40 - 2m50 (2m80まで10cmきざみ) (あと5cm刻み)

降雨その他の条件により、審判員の判断で変更することがある。第1位が同成績の場合、順位決定のためのバーの上げ下げは走高跳で2cm、棒高跳では5cm単位とする。

7 練習は第2陸上競技場において競技役員の指定する場所と時間帯で行う。また競技役員の指示に従うこと。

8 用器具について

① 競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用すること。但し棒高跳用ポールに限り、個人所有のものを使用する。個人所有のポールは競技開始前に現地で検査を受け合格したものに限る。

② 個人所有の物品を競技場内に持ち込むときは、規定枠外の大きさの商標等が見えないようにしなければならない。

9 表彰について

個人各種目、3位まで表彰する。また、郡市対抗は、総合・トラック・フィールド各3位まで、学校対抗は男女別3位まで表彰する。

10 大会当日、監督会議を8:30から競技場内記者室にて行うので、各郡市代表者は出席すること。

11 選手変更は、補欠の選手のみで行うことができる。なおその際に、プログラム末尾にある選手変更届を監督会議の前までに受付に必ず提出すること。届けが提出されない場合は変更は認めない。

12 競技場内に通信機器等を持ち込むことはできない。

13 平成26年度日本陸連に未登録の者は、本大会での記録は、徳島陸協のランキングの対象とならない。

14 貴重品は各自で保管すること。

# グラウンドコンディション

第68回 徳島県中学校郡市対抗陸上競技大会

場 所 鳴門・大塚スポーツパーク・ポカリスエットスタジアム

風力測定主任

測定日時	天候	風向	風速 m/sec	湿度 %	気温 ℃
10:00					
11:00					
12:00					
13:00					
14:00					
15:00					